

## 人権月間の取組がスタートしました！！

本校では、「人権意識の高揚を図り、一人ひとりを大切にしたい学校を自分たちの手で作り上げていこうとする児童を育てる」ことをねらって、人権月間（11月8日～12月5日）を設定しています。全校集会・人権学習・教育相談・校内人権集会等々を通して、一人ひとりの人権が大切にされる学校づくりを目指して取組の充実を図って参ります。取組のスタートにあたる全校集会について簡単にお知らせします。

### 全校集会◇ なかまづくりについて考えよう ◇

11月8日（金）の業間の時間に全校集会を行いました。本校学校目標は「夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの学校づくり」です。笑顔で元気いっぱいの海東小学校にするために、「なかまづくり」について考える時間を設定しました。

「なかまづくり」について考えるために、私が出会ったある6年生の事例を紹介しました。低学年からいやなことを言われ我慢していたことを友達に相談すると、「我慢してえらいね。でも、きちんと伝えた方がいいよ」とアドバイスを受けました。ある日、下級生が同じように嫌なことを言ってきました。その6年生が「嫌だから言わないで」と言おうとした時に、友達が「そんなこと言ったらダメだ」と注意してくれたそうです。また、下級生の子どもも「分かった ごめんなさい」と謝ったそうです。ここには、いやな思いをさせる子・いやな思いをする子とその友達の3つの立場があります。それぞれの立場について感じたことを出し合ってみました。

夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの学校づくり		なかまづくり
いやなことを言う	6年生だから、がまんしよう	がまんしてえらいね
やめてと言ってもきかない	でも、いやだね	でも、...
ふざけてどひかってくる	どうしたらいいのかな	ちゃんと伝えた方がいいよ！
	どうしたらいいのかな	
<b>下級生</b> (1年生)	<b>上級生</b> (6年生)	<b>友だち</b> (6年生)
いやなことを言う	いやだから、言わないで！	そんなこと言ったら、ダメだよ！
分かったごめんなさい		

いやな思いをさせている低学年については、「6年生がやさしくて何もしてこないの言っているのではないかな。すぐ謝れたのはすごい。」いやな思いをしている6年生については「友だちに相談したところがすごい。言わないとずっときつまま。」友達については「話を聞いて相手を受け止めている。思うだけでなく行動しているところがすごい。」等々の意見が出されました。それぞれの立場において、「なかまづくり」のための大切なポイントに目を向けることができました。そこで、自分を振り返ってもらいました。自分ができていなかったり、頑張りたいと思うことを短冊に書いて3つの立場に分けて貼っていきました。友達の立場についての付箋が一番多かったようでした。この思いを大切にしながら、人権月間の取組につなげていきます。

- いやな思いをさせる立場について
  - ・お友だちにいやなことをしない（1年生）
  - ・自分で分かる力をつける（2年生）
  - ・いやと言われたらすぐにやめる（3年生）
 等
- いやな思いしている立場について
  - ・ひとりではがまんしない。友だちや先生に相談する（2年生）
  - ・そうだんする勇気をだす（4年生）
  - ・そうだんできるなかまをつくりたい（5年生）
 等
- 友だちの立場について
  - ・どんだんすけたり、話を聞ける人になりたい（3年生）
  - ・「どうしたらいい」と聞かれたら、いっしょに考えられるような人になりたい（4年生）
  - ・だれでも安心して相談してもらえるようになりたい（5年生）
  - ・人が困っていたら、きづける力をつける（6年生）
  - ・自分から行動できる力をつけたい（6年生）
 等



## 「あいがどうの木・がんばってるなの木」 ～紅葉しはじめました～

いつもおもしろい話をしてくれてありがとう。

まどを開けている時 気付いて手伝ってくれてありがとう。

たくさん話してくれてありがとう。話しているといい気分になるよ。

いつも元気に走っていてすごいね。がんばってね！

かけ算九九上手だね。ぼくの九九をきいてくれてありがとう。

授業の時、たくさん手をあげて、大きな声で発表してすごいね。

今年も、「ありがとうの木・がんばってるなの木」の紅葉のはじまりました。これから、たくさん葉を实らせてくれると思います！